

東京免疫フォーラム演題募集のお知らせ

東京近郊の免疫学研究者の相互交流を活発にする目的で開催している「東京免疫フォーラム」は、毎回多くの方々にご参加いただき、自由な雰囲気での討論の場としてご好評をいただいております。

今年度は「第34回東京免疫フォーラム」として2026年3月27日（金）に東京大学医科学研究所にて開催いたします。今回は **渋谷彰先生（筑波大学）の特別講演**に加え、**特別企画「ノーベル賞の現場を覗く」**と題して、免疫学研究でノーベル医学生理学賞受賞者であられる坂口志文先生、本庶佑先生それぞれの直系のお弟子さんであられる、堀昌平先生、岡崎拓先生、新藏礼子先生にご講演いただきます。ノーベル賞の発見を現場でささえた先生方から、当時の臨場感あふれる研究室の様子や科学の哲学を直接伺うことができる機会は、学生諸氏、若手研究者をはじめ幅広い研究者層に大きな刺激となるに違いありません。

また、公募演題での発表を通じ、ご自身の研究成果を多くの人に知ってもらおうとともに、若手ネットワーク形成のきっかけにさせていただきたいと存じます。**貴研究室の若手研究者のみならずへご周知の上、ぜひとも演題の応募をご奨励くださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。**

つきましては、下記の要領で演題を公募いたします。内容テーマは自由、推薦などは不要、応募していただいた演題の中から1-3演題を運営委員会にて選出し、発表（口頭発表15分、質疑5分を目安）していただく予定です。講演は原則として東京大学医科学研究所で行います。なお、演題が採択された方には「東京免疫フォーラム研究奨励賞」として公式に表彰をいたします。副賞として汎太平洋新興再興感染症（EID）会議（マレーシア）での発表機会をご提供し、参加費および旅費を支給いたします（EID会議の詳細は後日、公開されます）。

なお、東京免疫フォーラムでは交通費の支給はありませんが、東京近郊に限らず全国からの参加が可能です。多くの若手研究者の皆さんから積極的なご応募をお待ちしております。

2026年1月26日

世話人 浅野謙一、反町典子
東京免疫フォーラム運営委員会

第34回東京免疫フォーラム演題募集要項

- 応募資格 : 大学院生、ポスドク、学部学生、若手研究者・教員
内容、テーマ : 免疫学に関連する研究（15分程度で発表できる内容）
応募方法 : (1) 演題 (2) 発表者氏名 (3) 所属 (4) 共同研究者氏名 (5) 抄録本文（800～1000字程度）をA4用紙1枚以内に記載し、**メールにて事務局（担当・東京大学医科学研究所、根岸英雄：hnegishi@ims.u-tokyo.ac.jp）へ送付**して下さい。（MS-Word, Pages など）。日本語・英語、どちらでも可。演題送付後3日経っても返信が無い場合には、お手数おかけいたしますが電話（03-5449-5247）にてご確認下さい。
- 応募〆切** : **2026年2月20日（金曜日）正午**
日程 : 2026年3月27日（金曜日）
会場 : 東京大学 医科学研究所 附属病院 8階大会議室
懇親会 : 学生無料、一般 5000円
Web サイト : <https://tokyo-meneki.ims.u-tokyo.ac.jp>
(現在更新中。新しいページへのリンクも作成中です。)

